

# 平成28年度事業計画

(平成28年 [2016年] 4月1日～平成29年 [2017年] 3月31日)

平成28年度(第29期)は、定款の定めるところにより、下記の事業を行う。

## 1. 調査研究事業(公益目的事業1)

### (1) 「海洋の安全保障」研究

平成27年12月に発表した「東アジアの海洋安全保障に関する中曽根提言」の具体化に向けた方策について研究するとともに、内外の研究機関等との対話・協力を拡大・深化させる。

### (2) 「日米同盟」研究

新たな日米防衛協力のための指針、平和・安全保障法制の成立等により、日米同盟は深化した。その中で、二国間同盟である日米同盟がグローバルに果たす役割及び国際社会での意義について研究する。

### (3) 「2025年問題」対応に関する研究

団塊の世代が後期高齢者世代となり従来とは異なる局面を迎える2025年頃の日本を巡る課題について、問題の所在と対応について検討する。

### (4) 韓国 元国務総理 金 鍾泌氏著「証言録」の日本語版の刊行

日韓の相互理解に資するため、長年にわたり日韓関係に尽力した韓国 元国務総理 金 鍾泌(キム・ジョンピル)氏著の書籍「証言録」を日本語に翻訳し出版する。

### (5) 「憲法改正」に関する研究

当研究所として「憲法試案」をすでに発表しているところであるが、憲法改正論議を国民的議論として広く行われるようにするため、憲法改正に関する理解と、議論を進めるための情報共有について研究を行う。

### (6) 「国際社会における日本への正しい理解醸成」に関する研究

日本への正しい理解を深める努力を着実に進めるため、歴史問題などについて、事実に基づく認識を多面的に検討し、国際社会とも正しく情報共有していく方法の研究を進める。

(7) 研究会等の開催

内外の有識者を招いてコロキウム、研究会等を実施する。

- ・ 中国経済研究

(8) 図書、研究誌等の刊行

① 当研究所の研究成果をまとめた研究誌「I I P S Q u a r t e r l y」を発行し、関係各方面に年4回配布するほか、ホームページに掲載するとともに、英語による情報発信を強化する。

② 当研究所の英文論文研究誌「A s i a - P a c i f i c R e v i e w」を年2回発行し、関係諸機関に配布するとともに、英国の出版社を經由して全世界へ情報を発信する。

(9) 研修事業

陸上自衛隊幹部学校幹部高級課程の研修生に対して、当研究所の役員、研究顧問、研究員等による研修を実施する。

## 2. 国際交流事業（公益目的事業2）

(1) 「東京-ソウル・フォーラム」国際会議

当研究所は、2010年より、韓国「ソウル国際問題フォーラム」との共催で、東京とソウルで毎年交互に日韓の意思疎通のための戦略対話を実施しており、本年度は東京において第7回「東京-ソウル・フォーラム」を開催する予定である。

(2) 「日中フォーラム」国際会議

当研究所は、2007年より、中国人民外交学会との共催で、「日中フォーラム」を実施しており、本年度は東京において開催する予定である。

(3) 「日台対話」国際会議

当研究所は、2002年より台湾側と対話交流を実施しており、本年度は台湾の兩岸交流遠景基金会（台北）との共催で、台北において「日台対話」を開催する予定である。

### 3. 中曾根康弘賞表彰事業（公益目的事業3）

第12回中曾根康弘賞の授賞を行うとともに、夏以降、第13回の募集を開始する。